

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全		26年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト				
事務事業名	中川口通船門の地震・津波対策		継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7937 施設事務所、港湾工事事務所	
目的	対象(誰・何を)	中川口通航水門					事業 期間	平成25～29年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。						
概要	中川口防潮水門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。					根拠 法令等		
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、機能の強化に併せて住民及び企業の生命・財産を守ります。					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
27年度の実施予定	中川口通船門の前扉室右岸の耐震補強工事を実施します。					関連 シート		

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	躯体について、耐震補強工事(鉄筋のせん断補強や増し杭)に着手しました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(25年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	91,140	159,552	136,952	387,644	
人件費	千円	5,694	3,347	6,868	15,909	
合計	千円	96,834	162,899	143,820	403,553	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状 況(全4工程) (進管理型)	目標	-	2	3	4(累計)		既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事完 了	
	実績	1	2	3				
	事業進捗状況(27年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
門扉補強工事の事 業進捗率(%) (進管理型)	目標	-	100.0		100(累計)		事業進捗率(目標・実績)は、出来高割合で す。	
	実績	38.9	100.0					
	事業進捗状況(27年度)			-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	耐震補強工事完了に向け順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必 要 性	事業着手時に比べ必要性が低下して いないか?	<input type="radio"/> 地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えて おります。						
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや 社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有 効 性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/> 耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の 向上」に貢献すると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効 率 性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/> 必要最低限のコストにて取り組んでおります。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	港の安全性向上に必要な不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく 必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を 維持する。		
課題			28年度以降の取組
背後地の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続的に事業を 進めていく必要があります。			引き続き、平成29年度の完了を目的に躯体の耐震補強工事を着実に推 進していきます。